

# 正しいごみの出し方とリサイクルを学ぶ！

## リサイクル施設の研修

7月5日(火) 長谷地区公民館事業として、町のバスを利用し、リファーレンいなばへ視察研修に行かせていただきました。

施設に入ると、まず最初に資源・ゴミが種類別に展示しており、リサイクルの流れが分かりやすく説明されていました。

次に職員の方から施設について説明を受けた後、実際に岩美町で集められ搬入された小型破碎ゴミを収集車から下ろしていただき正しいゴミの出し方を学びました。

その後、缶、ビン、プラスチックなどを再生資源化するための選別する場所や再生化施設へ運ぶために圧縮梱包する様子を見学し、全ての工程が機械化されている事に驚きました。

次にリサイクルできないゴミや可燃物を燃やした後の灰を埋め立てる最終処分場を見学しました。この処分場を利用できるのは計算上平成34年までという事ですが、私達皆が協力し、ゴミの減量化を心掛ければ、処分場を一日でも長く利用できるのではないかと感じました。

最後に、ゴミの出し方などについての質疑応答があり、日程を終えました。

当日参加できなかった人も、現地を見学すれば、ゴミ減量化に努めなければならぬ意味が納得できると思います。

色々と勉強になり有意義な一日でした。

長谷公民館長

篠原 孝雄



## リファーレンいなば エコバスツアーに参加して

7月6日(水) 浦富地区婦人会は、リファーレンいなば主催のエコバスツアーに18名で参加しました。

内容は「ごみ処理施設・リサイクル施設をたずねて」と「てんぷら油のゆくえ」です。要するに、私たちの家庭から排出されたごみ、どのように処理され再利用されるのを見届けたいと見学に行っていました。

まず鳥取市船木にある、いなばエコ・リサイクルセンターでプラスチックごみの再生処理施設を見学しました。とても広いきれいな工場で作業者の方々から私達の出したプラスチックごみを袋から出し、仕分けをしています。その中に相変わらず小型破碎ごみ、ペットボトルが混ざっているとのことでした。そして、ベール(プラスチックごみを圧縮梱包したものに)に細かくしてから溶かしてペレット(プラスチックの原料)となり、製品化されます。例えばプラボトル、PPバンド、苗箱、リサイクル袋等です。

次に河原町にある(有)ステップ(てんぷら油のリサイクル)へ移動し、廃食油がどのように活用されているかを見学しました。鳥取市には鳥取駅南庁舎、マーケツト、公民館等に廃食油専用のポリタンク(ゆかいくん)が設置してあり、これらが自動車の燃

料・せっけん・家畜の飼料等にリサイクルされています。岩美町でも「ゆかいくん」の設置を計画されてはいかがでしょうか。



## リファーレンいなば 9月リサイクルファクトリースケジュール

内容	日時	定員	費用
裂き織り	9/6(火)・9/17(土)・9/27(火) 10:00~15:00	4人	実費
紙パックの正座用イス	9/9(金) 10:00~15:00	10人	無料
木工 ガーデンボックス	9/11(日) 10:00~12:00	10人	200円
余り布でマイバッグ作り	9/14(水) 10:00~15:00	10人	無料
健康布ぞうり	9/15(木) 10:00~15:00	10人	100円
余り布で作るマイ箸入れ	9/21(水) 10:00~12:00	20人	無料

※くわしくは、電話で問い合わせください。  
※上記以外の体験講座や、外部出張も行います。  
お気軽にご相談ください。  
教室参加申込・問い合わせ先  
リファーレンいなば (鳥取市伏野2220)  
☎0857-59-6026  
休館日 月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌日)

そして、最終目的地であるリファーレンいなば(鳥取県東部環境クリーンセンター)へ向かい、缶・ビン・小型破碎ごみの処理を見学しました。ひとつになった資源ごみがアルミ缶、スチール缶、透明のびん、緑色のびん、茶色のびんと細かく分別されています。また、小型破碎の埋め立て地が満杯になったら、次はどうなるのだろうかという少し不安を感じながらの見学でした。

